

ため池・太郎洞池のこと

みのかも文化の森の西側にある池は「太郎洞池」というため池です。江戸時代の終わりに、それまであった小さな池を約4倍に広げてできたものです。当時の太田村の北部は、田畑のかんがい用水に困っており、当時の太田宿本陣役をつとめ有力指導者であった福田太郎八（1834～1878）が指揮をして元治元（1864）年から2年以上かけて工事しました。この池の土地は上蜂屋村にあったため、太田村は工事にあたって借用（のちに購入）する必要がありました。

ここにある史料は、上蜂屋村がそれを承認し、土地の境界などを定めた証文です。また、添付されている絵図には、工事の予定線なども書いてあり興味深いものです。

